



BNI 三重リージョン ニュースレター

【2018年5月号】

【BNI公式ポッドキャストより】

ボーダーライン

By Dr.Ivan Misner

アイヴァン: 今日のポッドキャストにはゲストを呼びました。デイビッド・アレグザンダーさんです。デイビッドは、BNIのエグゼクティブディレクターを17年以上務めています。BNIに加わって、17年以上です。デイビッドは私の友人です。知り合って長くなります。

ずいぶん前ですが、私と私の妻を、奥さんのキンバリーとの結婚式に招待してくれました。結婚式で一番気に入ったのは—デイビッド、あの日は雨が降りそうでした。式は屋外でした。ところが、最後までずっと雨が降らず、式が終わって全員が屋内に入った直後に雨が降り出しました。神様に直通電話をかけて、「少し雨を待ってもらえませんか」とお願いしたみたいです。素晴らしい結婚式でした。

デイビッドは「Networking Like a Pro」の共著者でもあります。デイビッドと私はオースティンに一緒にいますが、「Networking Like a Pro」の第2版の出版に向けて仕事をしています。デイビッド、今日はとても素晴らしいコンセプトの話ですね。「ボーダーライン」。聞いた人は、なんのことだか不思議に思うでしょう。私もそうでしたから。お話を聞かせてください。BNIにおけるネットワーキングにもびったりの話です。

デイビッド: もちろんです。今日はポッドキャストにお招き頂き、ありがとうございます。昨日ですが—これをお聴きの皆さんのために—おかしな話ですが、昨日、アイヴァンに言ったのです。「ポッドキャストがやりたい」と。そうしたら、「明日、やります。出ませんか」と。すごい速さで幸運が巡ってきました。アイヴァン、どうもありがとうございます。

アイヴァン: どういたしまして。

デイビッド: 「ボーダーライン」ですが—少し考えてみてください。運転しているなら別で

すが、目を閉じて、自分の人生におけるブレイクスルーの経験、あるいは平凡から非凡へと成長した経験を思い出してください。人生における忘れがたい瞬間、忘れがたい期間です。それを考えてもらっている間に、2年程前に私が経験したことをお話ししましょう。

まずは私の歳ですが—44歳でした。この話にも関係があります。私はトライアスロンをしていますが、上位に入る実力があります。2年前には、ベストの状態でした。すごくきついトレーニングをしていたし、競技も知り尽くしていましたから。それで、たくさんの友達とレースに出ることになりました。その友達の1人、28歳でしたが、やはりベストの状態です。とても強い選手でした。この本人も含め、私の友達は皆、私がこのレースを大差で負けると言ってはばかりませんでした。

レースが始まりました。スタートは皆で一緒でしたが、私が一緒にレースに出たこの28歳に負けると、皆がわざわざ念を押してくれました。レース中、何が起きたのか自分でも分からないのですが、今までのレースで一度も経験したことのないような集中力が得られたのです。この場合、この競争がもたらしてくれた集中力でしょう。「無理だ」と人が言うのに、自分は「できる」と思っていたのです。レースは無我夢中でした。

一番最後、ゴールした時には文字通り倒れ込みました。何もできずに地面に横たわっていました。やり切った、と。タイムを見に行ったら、勝っているではありませんか。わずかに数秒差です。こういう、ぎりぎりのボーダーライン。この話で一番大事なものは、私とその人物に勝てたということではなく、この経験が、私のものの見方を大きく変えたということです。私にとってのスポーツを変えた。色々な意味で、私を変えたわけです。

こんなことが言えるのではないのでしょうか。「凡庸を脱し、ブレイクスルーに導いてくれるのは、このボーダーをまたがせてくれる何かだ」と。

アイヴァン：素晴らしいお話だと思います。昔、本で読んだ温度1度の差を思い出しました。圧倒的な違いを演出するのは、たった1歩、足を伸ばしただけの違いに過ぎないと。今日、我々の社会が存在するのも、たった1°Cの差があったからです。華氏211度と212度の差。212度は沸点です。水を沸騰させることができたおかげで、蒸気エンジンが誕生し、産業社会が誕生した。この1°Cの差は、農業社会と産業社会の差です。ある意味、デイビッドの話と同じだと思います。ボーダーラインがあって、それを越えると、信じられないようなことが起こる、と。このブレイクスルーを引き起こすことができたのは、どうしてですか？

デイビッド：色々なことを関連付けできると思います。212度と211度の話。その通りで

すね。往々にして、その1℃がモノを言う。ぎりぎりのボーダーラインが決め手になる。でも実際には—我々はこれを忘れがちかもしれません。このボーダーラインに至るために、すべきことをしないとイケない、ということ。近道はありません。

私がトライアスロンで勝てた理由、数秒差で勝てた唯一の理由は、それだけ時間を注ぎ込んだからです。途方もない時間をバイクに費やした。ランはぎりぎりまで追い込んだ。スイムは完璧に仕上げた。やるべきことをやったからこそ、ボーダーを超えられたわけです。ボーダーラインを超えたら、たくさんのことが変わりました。

1つは、レースの後、本人と周りの友達にあてこすりを言って楽しみました。その後もずっと、嫌味を言い続けています。その後一度も対戦していませんが、わざとではありません。これからどうなるか、楽しみです。ボーダーラインを超えたことで、自信ができました。決断力がつきましたね。それに、実はそのシーズン、私の年齢層での活躍を表彰されたのです。あのレースでボーダーを超えることができなければ、表彰されなかったかもしれません。

ボーダーラインは人生のいたるところに存在すると思います。ビジネスにもあります。自分のビジネスを振り返ってみると、ブレイクスルーに気づきます。顧客開拓かもしれませんし、業務プロセスの話かもしれません。そういった、ブレイクスルー。でも、トレーニングをして得られたブレイクスルーに比べたら、大したものではないでしょう。今日の話で一番説得力のある部分だと思います。ボーダーラインを超えるには、努力が必要だということ。でも、そのボーダーラインを超えると、魔法のようなことが起きます。

アイヴァン: その通り、努力が欠かせません。「努力をしないで成功する秘密は、いまだ秘密だ。」と長いこと言い続けています。そんなものは存在しません。もし知っていたら、教えてください。私が見てきた成功は、どれも努力によるものでしたから。でも、時としてもう少し違う要素が必要かもしれません。おっしゃったような、ボーダーラインです。自分のビジネス、自分の人生に結びつけて考えるべき、素晴らしい内容ですね。

でも、まずは BNI に結び付けてみましょう。何らかの点で、BNI メンバーに結び付けて話をしてもらうことはできますか。素晴らしい話だと感じていると思います。BNI には、どう応用できますか。

デイビッド: 素晴らしい質問ですね。BNI に結び付けてみましょう。BNI チャプター、BNI メンバーと共に一生懸命やってきたことの1つは、「グリーン」の達成です。メンバーの皆さんはご存知だと思いますが、メンバー・トラフィック・ライトというシステムがありま

すね。

アイヴァン：メンバー・トラフィック・ライトは BNI コネクトの一部です。皆さん、BNI コネクトに行って、デイビッドが話しているメンバー・トラフィック・ライトがどんなものか見てみてください。すみません、続きをどうぞ。

デイビッド：承知しました。メンバー・トラフィック・ライトについて、面白い統計が得られました。それを皆さんにお話しします。私が管轄している私のリージョンだけの話です。メンバー・トラフィック・ライトでグリーンのメンバーが出したリファーラルをチェックしてみました。まず「与える」ですよ？ここ 6 か月の間に与えたリファーラルの数を見てみました。28.95。29 と言っていいでしょう。素晴らしい数字です。本当に努力をしています。与えています。チャプターに全力で貢献しています。

それで、正反対のケースも見てみました。数字はあまり思わしくありません。メンバー・トラフィック・ライトでグレーのメンバーが出したリファーラルの数です。グレーはレッドの下だったと思います。

アイヴァン：そうです。グリーン、イエロー、レッド、グレー。グレーが一番下のレベルです。

デイビッド：グレーは信号機が点灯していない時の色ですね。グレーのメンバーを見ると、6 か月間で 5.6 個のリファーラルを出していました。少し考えてみてください。ひょっとしたら、ボーダーラインがイエローとグリーンの間にあるのかもしれませんが。百万ドルチャプター、5 百万ドルチャプター、1 千万ドルチャプターになる、とゴールを設定しているチャプターがあります。どんなチャプターになりたいか、ゴールを決めているわけです。メンバーシップのゴールも設定しています。

このゴールを達成するのに、ひょっとしたら今日の話が鍵になるのかもしれない、とふと思ったわけです。仮定の話ですが、チャプターのメンバーの半分がグリーンだったら、どうでしょうか。やり取りされるリファーラルの額は、どうなるでしょうか。私が管轄しているエリアでは、リファーラルは 1,200 ドル以上でした。すると、もしグリーンになる、というだけで、やり取りされるリファーラルの数は 4 倍ですか？そうしたら、チャプターの生産性はどうなるか？メンバーが手にする金額、チャプターのサンキュースリップの額はどうなるか？考えてみてください。

BNI ではイエローとグリーンの間にはボーダーがあるように思います。それを超えたら、も

の凄いことが起こる。

アイヴァン：ボーダーラインを複数考えることもできそうです。グレーとレッドの間にもボーダーがある。レッドとイエローの間にもあって、大きなボーダーがイエローとグリーンの間にある。ゴールは—終わりを意識して始めることが大事だ、といつも思っています。グリーンに行きたいわけですが、まずはグレーを脱却しないとイケません。レッドの方に向かうわけですが、そこに最初のボーダーがあります。それを超えたら、次のボーダー。

デイビッド：素晴らしいご指摘です。今のご助言ですが—もう何年間も言い続けておられますね。BNI の魔法の質問。「何かお役に立てることはないですか」。おっしゃる通りです。ひょっとしたら、ボーダーラインはグレーとレッドの間にあると考える方がいいかもしれません。イエローとグリーンの間よりも。おっしゃる通りだと思います。ボーダーラインは複数あると言ってもいいでしょう。超えるのは難しいけど、超えたら、人生が変わる。目に見えて変化が起こる。

アイヴァン：そして、グリーンとグレーの違いは 5 倍あります。5 倍の差。5.6 から 28.9、5.6 に 5 を掛けると、厳密には 28.9 に満たないですね。5 といくらか、になります。

デイビッド：ポッドキャストで計算するとは、勇気がありますね。

アイヴァン：しかも、ライブでね。素晴らしいコンセプトです。あまり時間がありませんね。最後に、何か言っておきたいことはありますか？

デイビッド：グリーンを目指してください。

アイヴァン：グリーンを目指せ。いいですね。

デイビッド：1つだけ、あります。手短に。どうやって、そこに行きつくか。何かをすると決めたら、トライアスロンでも、メンバー・トラフィック・ライトでグリーンを目指すにしても、決して脇道に逸れないこと。何があっても、ゴールを決め、帆先を巡らして、コースから外れない。ブレてはいけません。

アイヴァン：その通り。私がこのポッドキャストでいつも言ってきたことと重なります。「1,000 のことを 6 回ではなく、6 つのことを 1,000 回しなさい」。

デイビッド：その通りですね。

アイヴァン：今日の話のボーダーラインを超えることに専念する。デイビッド、素晴らしい内容でした。ポッドキャストに出演頂き、ありがとうございました。素晴らしい話題でした。ポッドキャストをお聴きの皆さん、内容をメモして、チャプターに持って行ってください。

特に、エデュケーション・コーディネーターの皆さん。チャプターに持って行って、全員で話をするのもってこいの内容です。グレーからグリーンに行くのに、ボーダーラインは数個です。でも、それができたら結果は 5 倍です。デイビッド、ありがとうございました。

【編集者より】

デイビットさんのお話は、とても興味深いものでしたね。ご自身のボーダーラインの経験は思い浮かびましたか？私は学生時代に打ち込んだ部活や学業のボーダーラインの経験が思い浮かびました。残念ながら、仕事に関しては決定的なボーダーラインが思い浮かびませんでした…笑。しかし、過去のその経験はデイビットさんが仰っているように、自分の人生にとっても大きな影響を与えてくれました。スポーツと仕事は全く別の物のようで、見方を変えれば結局同じことなのですね。とても分かりやすいお話でした。メンバー・トラフィック・ライトもこの話を踏まえて、是非チェックしてみてください。